

先進的なまちづくり

FUKUOKA Smart EAST

広大な敷地で新たなまちづくりを行うことができる強みを活かし、モビリティやセキュリティ、エネルギーといった最先端の技術革新により、**快適で質の高いライフスタイルと都市空間の創出**に向けて、「FUKUOKA Smart EAST」に取り組む。

取組みの方向性

- ICT（情報通信技術）やIoTの活用
- 様々なスマート（サービス）の連携

▶ 平成31年度からの土地利用公募への反映

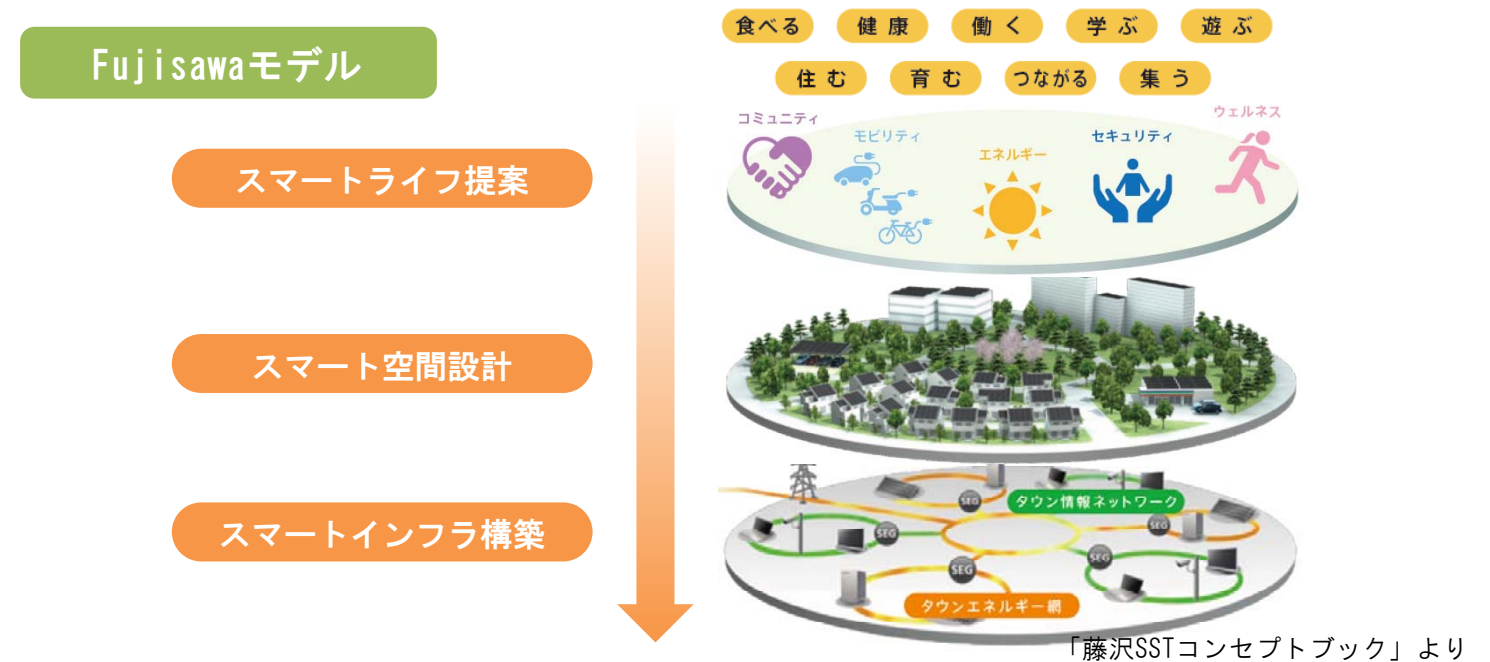
様々なスマート（サービス）の連携



他都市の事例

《事例1：藤沢サステナブルスマートタウン》

- 民間企業が主体となって運営されているスマートシティ。産学官からなる協議会と連携し、エネルギー、セキュリティ、ウェルネス、モビリティ、コミュニティの5分野でのサービス提供が行われている。
- 「人の暮らし」を中心に置いた発想とプロセスによるサービスの提供によって、**サステナブル(持続可能)に進化するまちを目指している**。
- 運営：Fujisawa SSTマネジメント(民間企業によるJV(共同企業体)のまちづくりマネジメント会社)



《事例2：スマートシティ会津若松》

- 産学官で構成する協議会により、まちづくりを推進しているスマートシティ。企業誘致・産業育成を軸に、エネルギー、観光、医療・健康、農業等の各分野で、ICT・IoTを活用した事業が行われている。
- ビッグデータ※2を活用した企業誘致・産業育成による地方創生を目指しており、総務省や経産省をはじめとする国による実証事業の誘致、大手企業だけではなく地元ベンチャー企業も参画した産学官の連携、大学と連携した人材の育成を推進。
- 運営：会津地域スマートシティ推進協議会(民間企業・大学・市によるコンソーシアム)

※2 ビッグデータとは、ICTの進化により従来のシステムでは記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群のことで、例えば、統計・経済状況、環境、防災など、リアルタイムに生成・記録される大容量かつ多様なデータ等が挙げられる。

